

□■タイの展示会レポート■□

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスの佐藤です。

5～6月にかけて、バンコク市内とバンコク近郊で開催された、来場者4万人を超えるタイ最大級の3つの展示会を見学してきました。

「INTERMACH-SUBCON Thailand 2017」(インターマック-サブコンタイランド 2017)

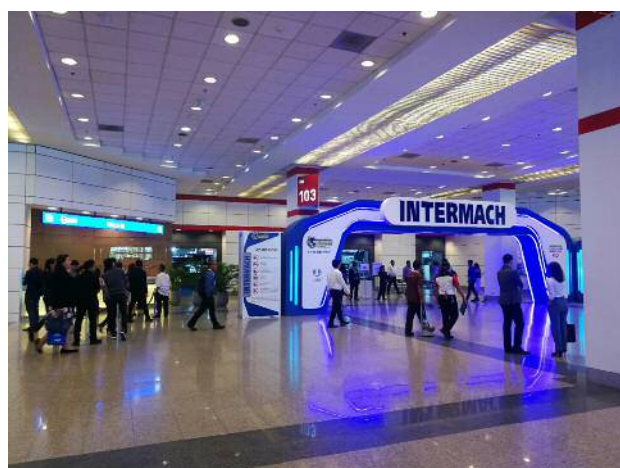
会期	2017年5月17日～20日
会場	BITEC(バイテック国際貿易展示センター)
出展対象品 (SUBCON THAILAND)	コンポーネント及び自動車部品、金属/プラスチック自動車、電気・電子部品、金型設計、ファスナー、オートメーション/ソリューションプロバイダ、ソフトウェア、表面処理、産業サプライ&サービス
出展対象品(INTERMACH)	空気圧縮機、オートメーション、ファスニング、ハンドツール、パワーツール、油圧、空気圧、工業用洗浄、物流、工作機械、機械、金属加工、資材処理、測定、計量、モールド&ダイ、電力伝送、板金、ツール、切削工具、溶接
特徴	バンコクで開催される三大製造業国際展示会のひとつ。ASEAN最大の機械見本市。世界45カ国、約1,200社以上の製造業や商社が最新の工作機械・機械部品などを展示
公式 Web サイト	INTERMACH http://www.intermachshow.com/en-us/ SUBCON THAILAND http://www.subconthailand.com/

サブコンタイランドは、BOIとBOI傘下の産業連携促進ユニット(BUILD)、国際会議や展示会運営を手掛けるUBMアジア(タイランド)、タイ下請振興協会(タイ・サブコン)が共催するアセアン最大の裾野産業見本市です。タイ、アセアン、日本など、12カ国以上から400社程の産業部品メーカーがブースを設置し、国内外のバイヤーと商談を行いました。また、今年は展示会に合わせて初のフォーラムも開催され、第1回目として、タイの自動車産業の将来をテーマとし、省エネ、二酸化炭素排出量の削減、安全技術などに関する意見を交換が行われました。

毎年サブコンタイランドと同時開催される「インターマック 2017」は産業機械の国際見本市です。タイ政府が掲げる産業の高度化政策「タイランド 4.0」に呼応し、最新技術を導入した多くの産業機械が紹介されました。東南アジアで初公開される新型機械だけでも150種類以上に及んだとのこと。最先端技術を搭載したCNCや、レーザーカッター等の工作機械がずらりと展示されていました。



自動車部品や電子部品並ぶサブコンタイランドの会場



大型の産業機械が並ぶインターマックの会場

「THAIFEX - World of food 2017」(タイフェックス - ワールド・オブ・フード 2017)

会期	2017年5月31日～6月4日
会場	IMPACT エキシビジョン・センター
出展対象品	一般食品、冷凍食品、菓子類、飲料、酒類、ケータリングサービス、食品技術、包装、ホスピタリティ・サービス、小売・フランチャイズ、ハラル食品、等
特徴	世界トップクラスの食品輸出国であるタイで行われる食品・食品加工技術・サービスの見本市。会期前半3日間は専門バイヤーのみ、後半2日間は一般入場者へも開放。
公式 Web サイト	http://www.worldoffoodasia.com/

2017年6月

タイフェックスはケルンメッセ社と商務省国際貿易振興局（DITP）、タイ商工会議所（TCC）が共催する東南アジア最大級の食品見本市です。タイ周辺国以外にも欧米などを合わせた約40カ国、2,000ブース以上が出展しています。タイ商務省国際貿易振興局（DITP）のマリー局長によれば、関係者を除いた来場者は10万人、開催期間中の成約額は103億8,600万バーツ（約340億円）にもものぼったとのこと。食品の輸出に力を入れる日本貿易振興機構（ジェトロ）のジャパンパビリオンブースでは、67社・団体が出展し、日本の様々な食品・飲料等の魅力がアピールされていました。展示会の会場は年々拡充され、増設されたパビリオンではビーガンやオーガニック、イスラム教の戒律に沿ったハラール、グルテンフリーなどの食品にスポットが当てられていました。いずれのブースも試食や試飲が充実しており、各国の食品を一挙に味わえる良い機会でもあります。また、食のトレンドや各国の食文化、タイ人の嗜好を探ることができる、食品業界関係者からの注目を集めるイベントです。



盛況なジャパンパビリオンブース



着ぐるみとキャンペーンガールによるPR



ハラール認証のチーズ



調理の宰演

Manufacturing Expo 2017(マニュファクチャリングエキスポ 2017)

会期	2017年6月21日～6月24日
会場	BITEC(バイテック国際貿易展示センター)
出展対象品	自動車部品製造、金型&ダイ、組立および自動化技術、業面/コーティング、等
特徴	東南アジア最大の機械見本市「METALEX」に次ぐ規模の製造業の展示会。マッチングイベント「Mfair バンコクものづくり商談会」と併催。
公式 Web サイト	http://www.manufacturing-expo.com/

Reed Tradex が主催する製造業の見本市です。車両、電子、プラスチックなど幅広い分野で、46 カ国・地域の 2,452 社が出展。出展企業のうち約半数が日本企業です。前述のインターマック 2017 と同様に、タイ政府が掲げる「タイランド 4.0」のターゲット産業、特にオートメーション分野の出展が目立ちました。来場者は約 8 万人。隣接の会場にて併催された「Mfair バンコク 2017 ものづくり商談会」は、FNA グループと Reed Tradex が銀行や自治体と共催するマッチングイベントで、新たなビジネスパートナー・販路先・調達先を求める日泰の製造関連企業が、事前マッチングによる商談を行いました。出展企業数は 191 社、来場者数は Manufacturing Expo からの流入も含め 1 万人を超えたそうです。島根県からの既タイ進出企業も参加されていました。



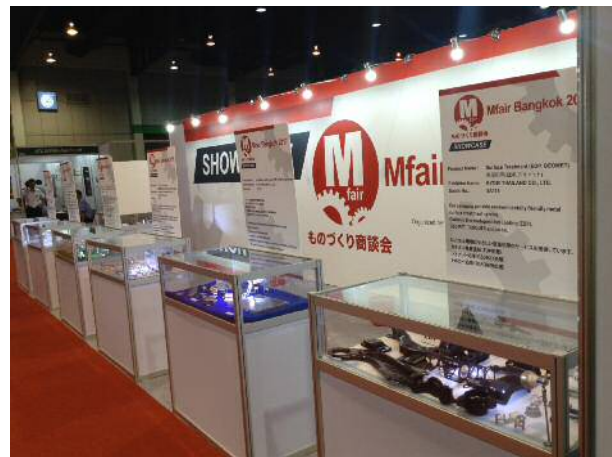
Manufacturing Expo 会場の様子



Manufacturing Expo ブース案内



M-Fairでの商談ブース



M-Fairでの製品展示

アセアン圏域で最も産業が集積しているタイ国内においては、年間約150もの展示会・見本市が開催されています。今回レポートさせていただいたような製造業関連、食品関連以外にも、医療、美容、IT、観光、ファッション・・・とジャンルは多岐に渡ります。タイ市場への新規参入・販路拡大を目指す日系企業にとっても、このような現地の展示会を見学、あるいは実際に出展することが、現場の生の情報を得る良い機会となっています。

☆☆タイから便り☆☆

～タイ・バンコク女性アイドルグループ「BNK48」～

こんにちは。島根ビジネスサポートオフィスのタイ人スタッフでビューです。アイドルグループのAKB48と言えば、皆さん、既にご存知かと思いますが、今回はAKB48の姉妹グループ、BNK48についてご紹介したいと思います。

バンコクを中心地にある大型高級ショッピングモール・EmQuartier（エムクオーティエ）にて、平成29年6月2日に「BNK48 THE DEBUT」というショーが開催され、BNK48のメンバー30人（タイ人27名、日タイハーフ1名、日本人2名）が、タイ語バージョンの「会いたかった」「大声ダイヤモンド」「365日の紙飛行機」を歌う初パフォーマンスをお披露目しました。

「We need you BNK48」のメンバーオーディションは、平成28年7月29日から31日までの第1期オーディション応募総数が1,357名で、最終合格者29名が決定されました。またAKB48のメンバーの一人（伊豆田莉奈（21））がタイ・バンコクのBNK48に移籍することが発表されました。メンバーの年齢は13歳から23歳まで。当イベントにはBNK48のうち16人の選抜メンバーが出演しました。



エムクオーティエで初パフォーマンスを行った「BNK48」(C)RAM



BNK48に移籍したAKB48伊豆田莉奈(21歳)



センター候補のミュージック(17歳)



キャプテン候補チャープラン(21歳)

2017年6月

タイでの運営は、AKB48グループを運営するAKSと、地場でメディア事業などを手掛けるローズ・アーティスト・マネジメント(RAM)の合併会社BNK48 オフィスが行います。RAM のジラット最高経営責任者は、「BNK48 は日・タイの文化交流を促進するアイドルグループとして AKB48 のコンセプトである「会いに行けるアイドル」を実行するため、BNK48 劇場を設置し、バンコク大型高級ショッピングモール EM QUARTIER に「BNK48 専用インターネット・オープンスタジオ・ライブチャット」を開設するなど、インターネット向けのコンテンツを展開していくプランを語りました。デビュー前にも関わらず、Facebook いいねを押した人の人数は 70,000 人(男性が 55%、女性が 45%います。)とのことです。

タイでアイドルグループと言えば、韓国アイドルが非常に人気です。日本のアイドルについて知るタイ人もまだ少ないと思います。BNK48 のようなタイのアイドルグループは今まで存在しませんでしたので、日・タイの文化交流を促進するため、応援したいと思います。



RAM のジラット最高経営責任者に面接。カメラマンも担当されました。

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Business Support Office(Bangkok)

担当 ; 佐藤 揺 Tayuta Sato

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com

お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人 (島根県より業務委託)

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapip.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

▶ タイ経済指標

項目	単位	2014	2015	2016	2017
GDP 成長率	前年比(%)	0.9	2.8	3.2	3.3(1~3月)
人口*	千人	67,065	67,293	67,506	67,590(4月)
労働者の数*	千人	38,963	39,165	37,792	37,888(4月)
失業率**	%	0.84	0.89	0.99	1.21(4月)
最低賃金*	バンコク	300	300	300	310(6月)
	チョンブリー	300	300	300	308(6月)
	アユタヤー	300	300	300	308(6月)
	ラヨー	300	300	300	308(6月)
賃金:全国製造業の平均	バーツ	12,074	12,305	12,402	12,143(4月)
インフレ率**	前年比(%)	1.90	▲0.90	0.19	0.81(5月)
中央銀行政策金利*	%	2.00	1.50	1.50	1.50(5月)
普通貯金率**	%	0.59	0.56	0.47	0.47(3月)
ローン金利(MLR)**	%	6.96	6.75	6.47	6.40(5月)
SET 指数*	1975年:100	1,497.7	1,288.0	1,542.9	1,561.66(5月)
バーツ/100円**	バーツ	30.77	28.31	32.53	30.95(5月)
バーツ/米ドル**	バーツ	32.48	34.25	35.30	34.85(5月)
円/米ドル**	円	105.84	121.0	108.8	112.6(5月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	884,346	795,905	765,593	355,299(5月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,662	2,237	1,688	308(1~3月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	729.4	809.4	861.3	239.7(1~3月)

*期末、**平均